

プロ品質の低溶出バイアル

PROQUALITA®

オートサンプラー用バイアル プロクアリタ

本当に信頼出来るバイアルを
ご使用されていますか？



バイアルは「単なる消耗品」ではありません。

バイアルの品質や特性は分析結果の信頼性や機器性能に大きく影響します。バイアルに基づくリスクの可視化は困難ですが、バイアルの品質や特性がエラー発生の大きな要因となります。

バイアル・セプタムによる様々なトラブル

- ◆セプタムの脱落による混入・汚染
- ◆キャリアオーバー
- ◆MSの汚れ
- ◆サンプルの揮散・漏れ
- ◆未知ピークの検出
- ◆高額なメンテナンス費用

シリコンとガラスのプロが信頼の高品位バイアルを開発

PROQUALITA®

オートサンプラー用バイアル プロクアリタ

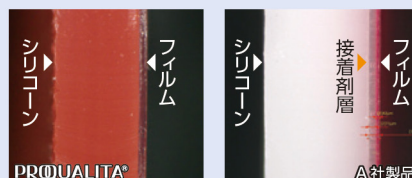
プロクアリタは材料選定から製造工程まで管理されたガラスびんと、接着剤不使用および好適なシリコン組成のセプタムにより設計されたバイアルです。

主な特徴

接着剤不使用 + 穴が締まりやすい

コンタミネーション等のリスク

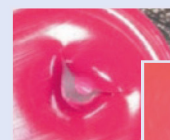
■ 接着剤不使用



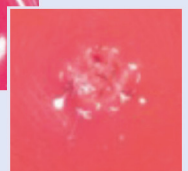
接着剤を使用しないことによりコンタミネーションリスクを軽減。

■ 連続注入に対応し、穴が締まりやすい

セプタムのシリコンの組成とフッ素フィルムを再検討し、“穴が締まりやすい構造”を実現。セプタム由来の汚染や揮散・漏れやキャリアオーバーの低減、 needlesの連続注入によるトラブルを解消。



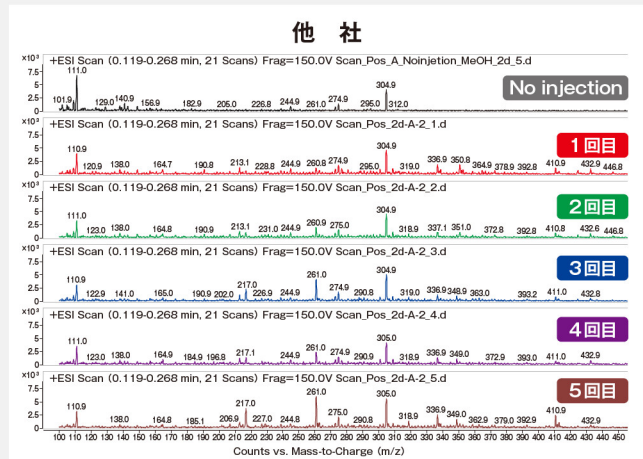
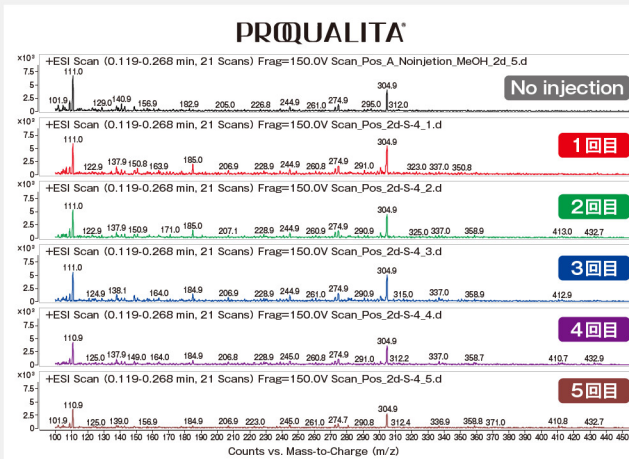
他社



プロクアリタ

資料 ~連続注入による溶出物試験~

- 分析条件**
- 分析機器: Agilent 6460 QQQ LC/MS system (公益財団法人 岩手県南技術研究センター設置機器を使用)
 - イオンソース: ESI
 - カラム: 未使用(MSIに直結)
 - 流量: 0.2mL/min
 - 測定範囲: m/z = 100~1000(マススペクトル)
 - 試料: 2mLバイアルに1.5mLの溶媒を投入後 40°Cオープン内で1日間養生
 - 溶媒: メタノール(LC-MS用)
 - 試料注入量: 1μL, 連続5回注入



PRQUALITA®は5回注入後でも、マススペクトルにほとんど変化が見られません。

価格表

	バイアルセット				パーツのみ			
	透明		褐色		セプタム+キャップ		セプタムのみ	
	スリット 無	スリット 有	スリット 無	スリット 有	スリット 無	スリット 有	スリット 無	スリット 有
写真								
商品名	バイアルセット-1	バイアルセット-2	バイアルセット-3	バイアルセット-4	セプタム付キャップ-1	セプタム付キャップ-2	セプタムのみ-1	セプタムのみ-2
品番	6904-74498	6904-74499	6904-74500	6904-74501	6904-49999	6904-50000	6904-25500	6904-25501
商品概要	透明・ラベル付ガラスびん セプタム付PP青キャップ		褐色・ラベル付ガラスびん セプタム付PP青キャップ		セプタム付PP青キャップ		セプタムのみ	
希望小売価格(円/パック)	¥5,000	¥5,120	¥5,280	¥5,400	¥3,240	¥3,365	¥2,000	¥2,120
数量(本/1パック)	100	100	100	100	100	100	100	100

バイアルセット仕様▶容量: 2.0mL サイズ: 9φ×12mm×32mm(9-425)

製品概要

●キャップ

- ◆材質: ポリプロピレン
- ・ガラスびんとの嵌合性を重視
- ・液漏れ、リークを低減

●ガラスびん

- ◆材質: ホウ珪酸ガラス
- ◆仕様: 透明/褐色(ラベル付)
- ◆容量: 2 mL
- ◆サイズ: 9φ×12mm×32mm(9-425)
- ・ガラス専門商社により材料を選定
- ・様々なメーカーのGC及びLC用オートサンプラーで使用可能



●セプタム ※特許取得済

- ◆材質: フッ素フィルム(耐薬品性はPTFE相当) シリコン
- ◆総厚さ: 1.0 mm
- ・高耐薬品性
- ・セプタム用にシリコン組成や構成を最適化設計
- ・しば加工により表裏の判別が容易
- ・接着剤不使用で汚染を低減

*上記データの他にも技術資料を用意しておりますので、ご興味・ご不明な点等ございましたらお気軽に下記までお問い合わせください。

ここに提供する情報(以下、「本情報」という)については、代表値として誠意をもって提供するものであり、本商品規格ではありません。よって、本情報は明示又は黙示のいかなる保証をなすものではありません。本品は一般工業用途に開発・製造されたものであり、安全面での配慮を必要とする用途へのご使用に際しては、貴社にて事前に当該用途での安全性をご試験・ご確認の上ご使用の可否をご判断下さい。本製品は薬事法に基づく医療機器の登録を行っておりません。研究以外の目的には使用できません。本書に記載の情報は予告なく変更されることがあります。

お問い合わせ先